

大般若会のご案内

期日 六月十日(日曜日)
時間 午前十時より
内容 祈祷大般若
檀信徒先祖供養

法話 おとぎ

*詳細は別紙参照ください。



*本堂にて大般若経を転読し、檀信徒皆様の家門繁栄、家内安全、子孫長久、諸災消除を祈願いたし、併せて各家先祖代々諸精霊に供養する法要です。ぜひともご参加くださいたくご案内いたします。

花まつり法要

胎内市仏教連合会主催の花まつり法要(お釈迦さまの誕生日を祝う)が五月十三日(日曜日)午前十時より、羽黒の徳岩寺様を会場にして開催されます。お稚児さん、地区の子ども達、梅花講員さん、各宗僧侶により羽黒地区を白象行進、終わって本堂にて生誕法要を行います。



訃報

三月二十四日徳岩寺檀徒、山王佐藤悌吉氏が逝去されました。享年八十六。佐藤氏は前曹洞宗新潟県第四宗務所(所長神田英俊)より現宗務所(阿賀野市観音寺稲垣智正師)と二期護持会長を務めておられ現役でした。又中条町時代には町議会議員及び議長として行政にたずさわり町の発展に尽くされ、その人望により多くの役職を歴任されておりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

仏教から見た言葉

四苦八苦(しくはっく)

四苦は「生苦」、「老苦」、「病苦」、「死苦」のこと。八苦は前の四苦に「愛別離苦」、「怨憎会苦」、「求不得苦」、「五蘊盛苦」の四つを加えたもの。お釈迦様の言われる苦しみは八つある。「生老病死」そして「愛するもと別れなければならぬ苦しみ」、「怨みや憎しみのある人と会わなければならぬ苦しみ」、「求めても求めても得られない苦しみ」、「肉体、感覚、心など身体の中の五つの要素への執着」これをひっくりかえして「四苦八苦」と呼んでいる。一般には「この問題あまりに難しく四苦八苦している」とか、「会社の経営が苦しく四苦八苦の状態だ」というふうに使っている。
この世は苦しみばかり、生きていくことは「苦」であるとお釈迦さまは説いている。この「苦」は思うようにならない苦しみのこと。思うようにならない苦しみにならばそのままの現実をしつかり受け止める。年を取ってくるとなおさら色んな苦しみが増してくるが、思うがままにはならない、それを確かに受け入れることが必要です。

お寺からのお願い

▼〈お墓のお供えもの〉菓子、果物、口を開けたワンカップ、日本酒の瓶、ジュースの缶、ペットボトル等はすずめ蜂がよつてきて危険ですのでお供えしてお参りの後、それぞれお持ち帰りください。
▼〈参道脇のゴミ捨て場〉自然ゴミ(花、草、落葉、枯れた樹木類)以外は捨てないでください。花を包んである紙、花を縛つてあるビニール紐、アルミホイル、ラップ、発泡スチロール、トレイ、プラスチック、ナイロン等や、墓掃除の雑巾、タワシ、洗剤容器、軍手、ビニール手袋等は持ち帰って燃えるゴミとして町のゴミ収集車に出して下さい。自然ゴミと町に出すゴミの分別をお願いします。

▼〈不燃物〉缶、瓶、欠けた茶碗、コップ等も棄てないでください。持ち帰って危険物として町指定日に出して下さい。

*参道中程左側に古塔婆入れを用意してありますのでお納めください。
*古札(年始、般若等)はお寺にお持ち下さい。お祓い後処分いたします。